

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖市社会教育委員会定例会		
開催日時	平成28年6月28日 10時00分	開催場所	市役所 2階第1会議室
出席者数	委員 13名 (欠席6名) 事務局 5名	傍聴人数	0人
議題	(1) 平成27年度社会教育関係事業報告について (2) 平成28年度社会教育関係事業計画について		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度社会教育関係事業報告について（資料） ・平成28年度社会教育関係事業計画について（資料） ・鳥栖市同和問題講演会（案内チラシ） 		
所管課	(課名) 生涯学習課		(電話番号) 85-3694

議 事 録

1. 開 会
○生涯学習課
・欠席委員の報告

2. 教育長あいさつ

3. 議 題
○議事進行(委員長)
・議事録署名人の選出

議題(1)平成27年度社会教育関係事業報告について
— 各課各担当から説明 — 別紙資料
生涯学習課
市民協働推進課

【質疑】 以下、○…委員 ●…事務局

○報告書にある同和教育集会所の所在は。

●元町の勤労青少年ホームの隣である。

○今年の成人式に出席したが、成人者の一部が奇抜な衣装を着て、式典中に大声で騒いだり、席に着かずうろうろしていた。荒れている成人式のニュースなどは見たことがあったが、本市でもこういう状況であるのかと驚いた。

●今年の成人式では会場に入る前から、同じ法被を着て笛を吹いたり、のぼり旗をもったりしてきているグループがいた。ホール入り口で、のぼり旗の持ち込み禁止、笛をふいてはいけないと注意した。騒動については事前になかなかわからない。ここ十数年は実行委員会形式で企画運営しており、成人者が式の当事者であるとのことで、あまりこういった騒動は少なかった。式に際しては成人の自覚をもっていたらいいと思うが、どういう気持ちで臨むかは個々人に寄るところであり、何とも言い難い。今回の状況は残念に思う。
今後については、より一層成人者である実行委員会のメンバーに、注意喚起、呼びかけを依頼し、また会場内ではアナウンスなどで注意したい。

○今年初めて参加したのだが、このような事は今年が初めてなのか。式後も町を練り歩いて騒いでいたと聞いた。

○こういう騒ぎを起こす人は一人だったら絶対できない。グループで騒ぐ。私も会場にいたが、式典が始まってあっちこっち出たり入ったりしていた。今年はひどかった。

○長いこと成人式に出席しているが、今年のような成人式は初めてだった。小中学校時に教えていた先生たちも声がかげられないような状況だった。また、言っても聞かない。騒いで目立つことが目的で来ているようなところもある。

○町の中での騒動は成人式のスタッフでは対応できない。社会に迷惑をかけたらもう成人なので警察が対応。成人式の会場では教員が対応するのが望ましい。20年ぐらい前になるが、当時は荒れる成人式が全国的でも社会問題であった。鳥栖市でもその傾向があり、いろいろ問題があったため、成人者が参加する実行委員会形式を採り入れた。式の主催となることで、自覚を促し、同じ年齢の実行委員会から参加者に声かけ、協力を依頼するというのが考えであった。

○私も長いこと見てきたが、実行委員会になっては、騒動は久しく無かった。実行委員会形式にする前はひどい状況だった。実行委員会形式になってから落ち着いてはいたのだけれど、今年だけだったらいいが、こういう状況が続くのであれば問題である。事務局で改善策を検討してもらいたい。

○私が小学校の教員をしていた時代の子がいたが、いろんな部分で問題行動があり、親とも何回も話し合いをして大変苦労した。小さい頃から芽があった。学校だけでなく、社会教育が地域の子どもに小さい時からかかわって、心をつくる、育てる取り組みが重要だと思う。

○地区公民館が、まちづくり推進センターに移行する際に、教育的な機能はセンターに継承された。報告によると様々な講座・教室が盛んに行われているが、特に基里ふれあい教室、いきいき生活塾も昨年より参加者が増えているが、その要因について分析されていますか。

●今、基里地区、旭地区について取り上げて発言いただいたが、各まちづくり推進センターとも地域の方々に広く声かけをして事業を計画し、参加していただいている。そういった地道な積み重ね以外には、特にというものは持ち合わせていない。職員により参加者を増やすよう取り組まれている。

○講座の企画や、講師の先生とかは誰が決めて、探しているのか。

●各まちづくり推進センターの職員がそれぞれ企画している。講師については、地域の方や、またつながりのある方など情報を提供いただいたりして探している。

○まちづくり推進センター間では、こういった情報のやり取りとかはできているのか。

●市民協働推進課、生涯学習課の職員も参加して毎月センター職員会

議を開催しており、情報交換などを行っている。

○今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

○勤労青少年ホームについては、何年か前までは利用が少なかった。今は増えてきているようだが、利用がなぜ伸びたのかわかりますか。

●勤労青少年ホームの利用状況は、近年は横ばいの状況である。様々な教養講座の開催など取り組んでいるが、一つの要因としては、過去に利用料の見直しをしている。以前は午前中とか午後など長時間の利用区分しかなかったが、必要な時間だけ使えるように変更したため、使い勝手がよくなり、その分が増えていると考える。

○河内の社会教育研修場はまだ利用できるのか。

●利用できる。ただし、老朽化が激しいため、安全面を考慮して宿泊はご遠慮いただいている。日帰りの休憩などでトイレや水回りの利用、前庭でのキャンプなどに使っている。

○これまでも言ってきたが、自然の中での体験学習は子どもたちの健全育成に重要な役割をもっている。古くなったから廃止して取り壊すだけでなく、何らかの形で利用を図ってもらえればと思う。

○社会教育研修場については、そのあり方について今後検討委員会等を立ち上げて、外部の声も聴きながら進めていただくよう要望したい。

議題(2)平成28年度社会教育関係事業計画について

— 各課各担当から説明 — 別紙資料

生涯学習課

市民協働推進課

【質疑】

○図書館についての説明があつたが、活発に利用されているようだ。県内の各図書館も趣向を凝らし、利用拡大のための様々な取り組みをされている。また、大胆に民間の参入など大きな改革をしているところがある。本市においてもさらによりよい活用をしていただくよう要望する。

○勝尾城筑紫氏遺跡の見学会に参加したが、山城の山頂まで大変きれいに整備されている。予算や労力を費やしてせっかく整備されているので、もう少し市民の皆さんに利用していただきたいと思う。

●勝尾城筑紫氏遺跡については、春と秋に生涯学習課文化財係が見学会を開催している。春は勝尾城山頂までなので、ほぼ登山であり健脚者向きであるが、今回は初の試みとして広域林道の一番近いところまでマイクロバスによる送迎コースも用意した。比較的体力に自信のない

方も参加いただけたようだ。また、秋の見学会は葛籠城跡なので、こちらはそう厳しくないコースになっている。今後も市民に広く呼びかけていきたい。

○費用を投じて整備されたのだから、鳥栖の財産でもあるので、観光などとも合わせて利用について考えて欲しいと思います。

○例えば市内各小学校の遠足で利用すればいいのではないか。私の子どもの年代ぐらいまでは城山には行っていた。郷土の歴史の勉強にもなり、郷土史や歴史に関心を持つ子どもも育つのではないか。

●勝尾城筑紫氏遺跡について、数年前までは小学校の遠足などで利用されていたが、最近ほとんど聞かない。学校のスケジュールの都合がつかないことと、また山頂付近にはトイレ施設が無いことも影響しているようだ。今後は学校の依頼に応じて文化財の出前講座的な取り組みも進めたいと思っているので、そういう機会をとらえて勝尾城筑紫氏遺跡のピーアールを行い、休みの日に家族で登ってみるとかのきっかけができればと思う。委員の皆様も様々な機会では是非情報提供をお願いしたい。

○学校行事で小学6年生は吉野ヶ里遺跡の見学に行っている。地元の史跡も行って知っていくことが必要と考える。

○現在の週休2日制の中で、授業時間の確保について教育現場では苦勞している。その中で登山となると、一日授業がつぶれるので、なかなか難しいと思う。様々なリスクを考えると現実的には困難。

○ほかにございませんか。ないようなので、今回は答申といった議論ではありませんが、今日の会議の様々なご意見をできるところから施策に反映していただきたいと要望します。以上で議事を終了します。

議題(3)その他

- ・生涯学習課より、8月22日(月)に市文化会館で開催される鳥栖市同和問題講演会の案内を行った

4. 閉 会